



印西市 細田台遺跡

細田台遺跡は印西市の東南部、西印旛沼の北岸1.8km、標高31mの台地上に位置しています。令和7年度に初めて本調査を行った結果、遺構は住居跡4軒と土坑116基を確認し、遺物は縄文時代中期の加曾利E式土器が出土しました。

細田台遺跡の周辺は未調査の遺跡が多く、本遺跡を含め、どのような歴史があったのか不明瞭でしたが、今回の調査で西印旛沼の北岸の台地上には、縄文時代中期の集落跡が存在していたことがわかりました。

注目すべき出土遺物として、74号土坑から縄文時代中期末葉に出現する「瓢箪形注口土器」と呼ばれる珍しい土器の破片が挙げられます。研究者の間でもどのように使われていたか、結論は出ていませんが、お酒を作っていたのではないかと考えられています。

印旛沼を挟んで対岸には佐倉市江原台遺跡が所在し、この瓢箪形注口土器が欠損の無い状態で出土しています。印西市では、残念ながら完形での出土はありませんが、過去に土器片が1点見つかっており、市内で2点目の出土になります。



公益財団法人 印旛・柏文化財センター



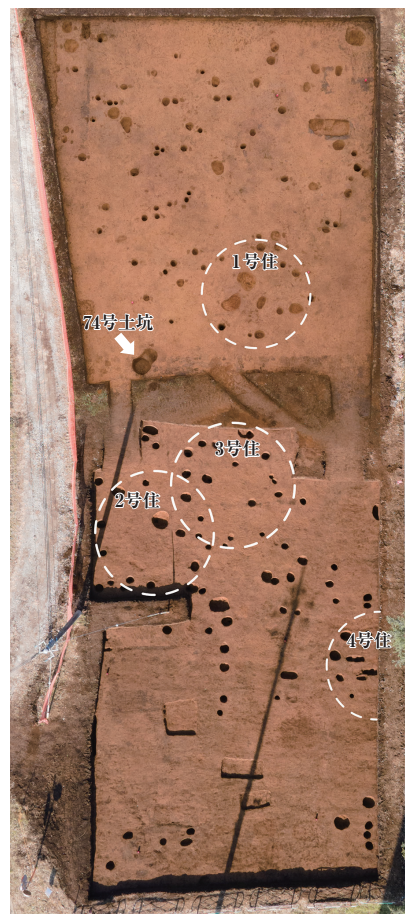
左：74号土坑出土瓢箪形注口土器片



右：佐倉市江原台遺跡出土瓢箪形注口土器



74号土坑 遺物出土状況



細田台遺跡 遺構配置図

てどまのぶくらこまをかまきまきさわやなぎ 手土馬野袋駒栄前牧沢柳市街八

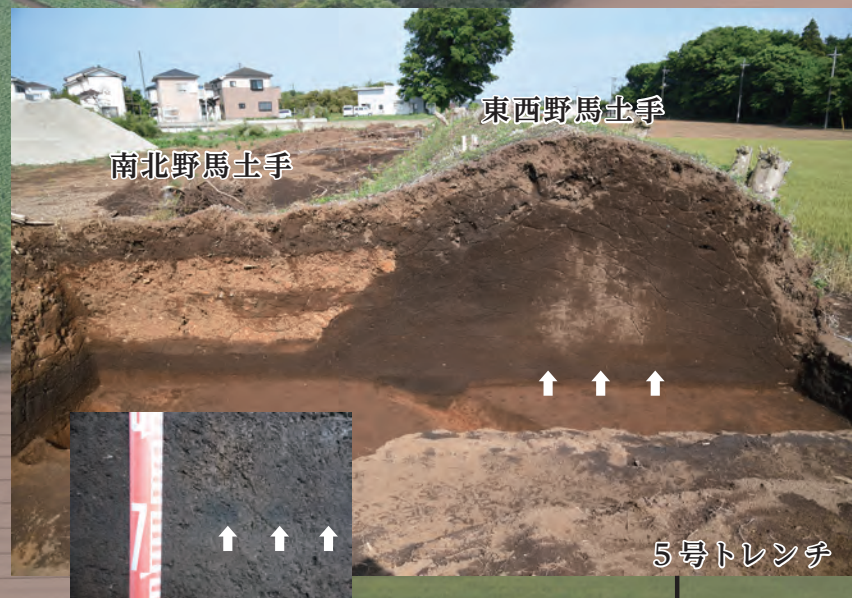
「八街」という地名は、明治政府の政策により、徳川幕府の放牧地であった小金牧・佐倉牧^{かいこん}の開墾に際し、8番目に切り開かれたことに由来します。牧には、馬の逃亡を防ぐため、または管理等のために牧の内部を区分するように築かれた「野馬土手」や、野馬を捕らえるための「捕込^{とっこめ}」があり、これらの一部は遺跡として現在もその姿を見ることができます。

今回の調査地は佐倉牧を構成する七牧の一つである柳沢牧に属しています。東西方向に一直線に約240m現存する東西野馬土手と、そこから北にT字状に突き出るように約24.5m現存する南北野馬土手があり、いずれもとても良好に遺存していました。

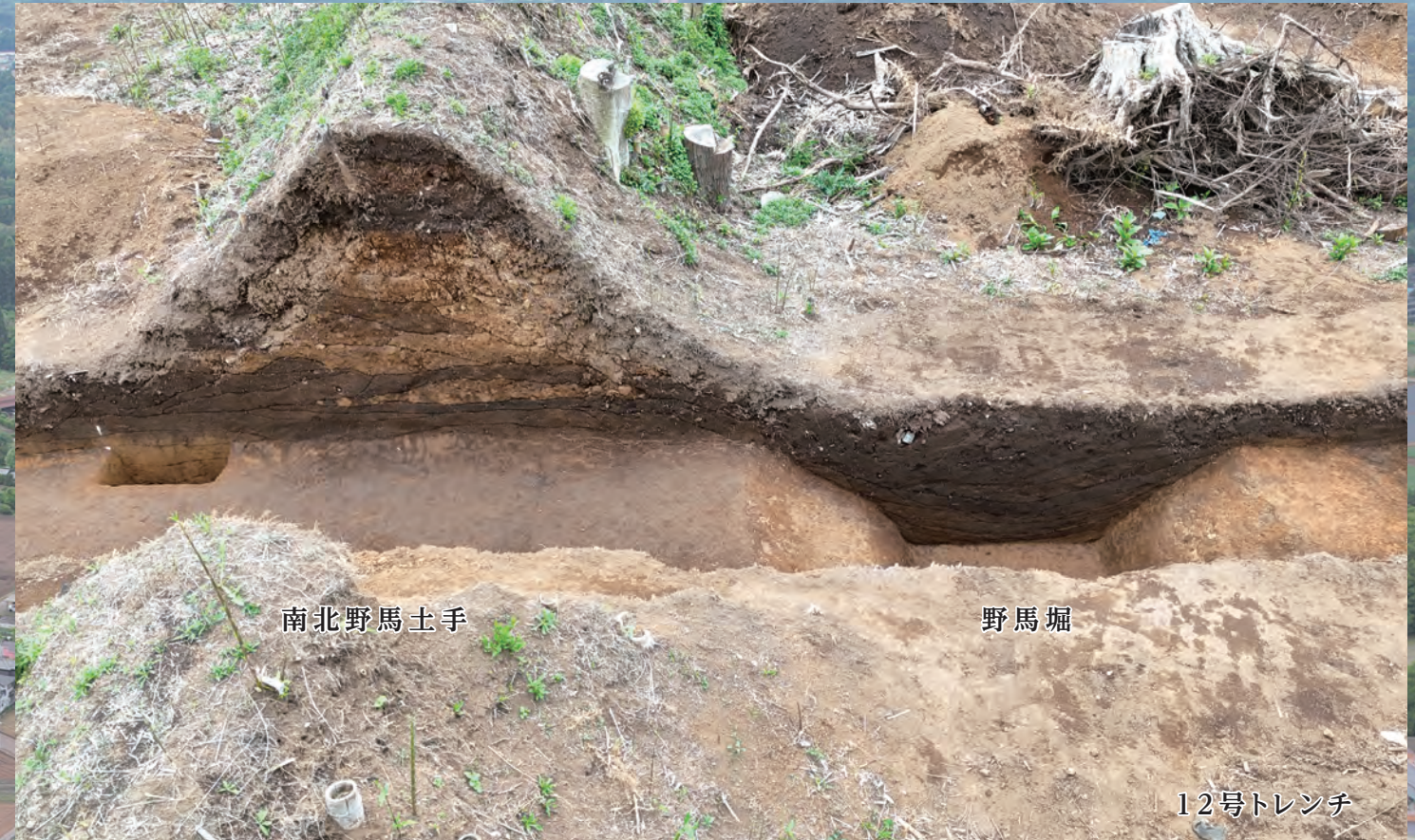
2つの土手が交差する5号トレンチで土層断面を観察したところ、東西野馬土手を築いた後に南北野馬土手が築かれていることがわかりました。また、2つの土手の断面は様相が異なります。東西野馬土手は黒褐色土が主体で、南北土手はロームブロックが主体です。12号トレンチを見ると南北土手に並行して野馬堀があります、この堀を掘削した際のローム土を積み上げて土手にしていることがよくわかります。東西野馬土手には野馬堀が付属しないことから、周囲の表土を広くすき取る形で土手を築いていたと考えられます。



位置図



宝永火山灰



今回の調査の注目ポイントは、宝永4年(1707)の富士山の宝永噴火によって降り積もった火山灰層が検出されたことです。東西野馬土手の構築土と旧表土の間に約2.5cm堆積していました。野馬土手の発掘調査において、宝永火山灰は土手の築造時期の一つの指標になるとされており、今回の調査により、宝永4年(1707)の降灰より後に土手が構築されたことが明らかになりました。

古文書によると、佐倉牧は寛文2年(1662)に七牧に区別され、享保7年(1722)に七牧のうち柳沢牧・高野牧・内野牧は佐倉城主が幕府から管理を委託されています。「一牧一込」の方針により、柳沢牧の捕込は勢田村の旧込から調査地南側にある勢田台に築替しており、享保13年(1728)に新込が完成しています。

今回の調査地は、新込に向かって野馬を追い込んでいく土手という立地もあり、新込の構築に伴い設置された野馬土手と考えられます。

12号トレンチ

野馬堀

《NEWS》

■「親子で勾玉づくり!」を開催しました

文化財に興味・関心をもっていただくため、小学生を対象に勾玉作りの体験イベントを令和8年8月14日(金)に開催いたしました。全4回、13組23名の親子にご参加いただき、とても賑やかな催しとなりました。



◀完成した勾玉

■令和8年度最新出土考古資料展開催中!

令和9年9月17日(金)まで、当センター考古資料展示室にて企画展を開催しています。今回は印西市西ノ原第1遺跡(旧石器時代)、佐倉市神楽場遺跡(縄文時代)、四街道市馬場No.1遺跡(奈良・平安時代)から出土した資料を展示しています。この機会にぜひご覧ください。

*考古資料展示室開室日時

平日9時～17時(入室は16時30分まで)

(休室日:土・日・祝祭日・年末年始)

《令和8年度 調査を終えた遺跡》

(9月現在)

- 〈佐倉市〉上志津干場遺跡(第10次)(縄文、奈良・平安、中・近世)
飯野宮ノ腰遺跡(第3次)(平安、中・近世)
江原塾谷遺跡(第14次)(弥生、古墳、奈良・平安、近世)
- 〈印西市〉西ノ原第3遺跡第4地点(第2次)・第5地点(第2次)(縄文、奈良・平安、中・近世)
※一部のみ終了

《令和8年度 整理作業を終えた遺跡》

(9月現在)

- 〈印西市〉細田台遺跡(縄文)

《令和8年度 整理作業を行っている遺跡》

(9月現在)

- 〈成田市〉不動ヶ岡樋田I遺跡(縄文、古墳、奈良・平安、近世)
不動ヶ岡太田遺跡(第1～3次)(縄文、奈良・平安、近世)
不動ヶ岡中弘遺跡(縄文、奈良・平安、近世)
- 〈佐倉市〉宮本宮後遺跡C地区(第3次)(縄文、弥生、古墳、奈良・平安)
生谷松山遺跡(第1・3次)(縄文、古墳、奈良・平安、中世)
上志津干場遺跡(第10次)(縄文、奈良・平安、中・近世)
飯野宮ノ腰遺跡(第1～3次)(平安、中・近世)
- 〈四街道市〉馬洗塚群(第3次)(近世)
- 〈印西市〉向新田遺跡第5地点(第2次)・第6地点(古墳、中・近世)
- 〈柏市〉花戸原遺跡(第14・16～25次)(旧石器、縄文、古墳、奈良・平安、中・近世)
中馬場遺跡(第14次)(縄文、奈良・平安、近世)
- 〈山武市〉大椎木遺跡(第2次)(旧石器、縄文、古墳、奈良・平安、中・近世)

※発掘現場、室内作業は見学いただけます。

ご希望に添えない場合もありますので、かならず事前にご連絡ください。

《ご案内》

ホームページとスマートフォン版サイトにおいて当センターの最新情報をお伝えしています。ぜひご活用ください。

PCサイト <http://www.inba.or.jp>

スマホサイト <http://www.inba.or.jp/sp>

